

## 基本目標 5 ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ

### 重点戦略課題 1 自立した市民に育てる教育の推進

#### 施策の基本方針（ビジョン編で定めた方針）

学校、家庭、地域などが、それぞれの役割を果たすとともに連携を一層充実し、思いやりとゆたかな心をはぐくむ環境づくりと学びの意欲を育てる教育を推進することで、子どもたちの生きる力を伸ばし自立した市民に育成します。

また、人間尊重、国際理解、環境問題、情報化などの今日的な課題に対応する教育を推進します。

#### 5 - 1 - 1 思いやりとゆたかな心をはぐくむ環境づくり

事業名	事業内容	備考[計画事業費]
家庭教育学級 教)生涯学習部	家庭における教育力の向上のため、幼稚園、小学校、中学校のPTAを対象に、子どもの心の理解、親の役割などについて計画的・継続的に自主学習する「家庭教育学級」を実施します。	[50百万円]
不登校対策の推進 教)学校教育部	不登校など子どもの心の悩みに対応するため、臨床心理士など「心の専門家」であるスクールカウンセラーを学校に配置します。そのほか、相談指導学級などにおいて不登校児童生徒への支援等を充実します。	スクールカウンセラー配置校(中・高等学校) 41校 106校 高等学校は全8校配置済み 17年度全中学校に配置 [547百万円]
Kitarafirstコンサート事業【再掲】 観)文化部	札幌コンサートホール(Kitarafirst)において、市内の小学校6年生を対象として、オーケストラ演奏を鑑賞・体験する機会を提供する事業を行います。	16年度:5日間、10公演、約16,000人が対象 [94百万円]
芸術体験キッズプロジェクト事業【再掲】 観)文化部	教育文化会館において子どもたちが大人と共に舞台芸術を学びその成果を発表する事業や、芸術の森において子どもたちが美術、工芸、音楽などのさまざまな芸術を楽しみながら体感する事業を行います。	[10百万円]
林間学校 教)生涯学習部	市内の自然に恵まれた小学校や社会教育施設を会場に、夏休みと冬休みの間に児童がさまざまな野外活動を体験する「林間学校」を実施します。また、モデル事業で実施していた障がいのある児童との統合コースを新設します。	小学校3~6年生対象 14年度「障がい児の野外教育参加推進モデル事業」開始 18年度統合コース新設 [26百万円]
さっぽろ夢大陸「大志塾(仮称)」事業 子)子ども育成部	サッポロさとらんど内の未整備地を会場に、子どもたちが、自由な発想で企画した活動をグループで協力して、自分たちの力で進めていく場を提供します。	17年度から参加募集人数を拡大 [9百万円]

事業名	事業内容	備考[計画事業費]
わたしたちの児童会館づくり事業【再掲】 子)子ども育成部	子どもたちが、地域の児童会館の運営等に参加し、自分たちの意見を反映できるしくみづくりを通じて、地域活動への関心をはぐくみます。	(仮称)屯田北地区児童会館整備に当たっての子どもワークショップの開催、子どもによる児童会館運営委員会の設置など [ - ]
「子どもの権利」推進事業 子)子ども育成部	子ども一人ひとりの権利が尊重されるまちを目指して、「子どもの権利条約」の普及啓発を進めるとともに、「子どもの権利条例」の制定に取り組みます。	フォーラムの開催 子どもを含めた市民参加による条例案の検討 子どもの権利救済のしくみづくりの検討 [24 百万円]

### 5 - 1 - 2 学びの意欲を育てる教育の推進

事業名	事業内容	備考[計画事業費]
札幌市教育推進計画の策定 教)総務部	札幌市における教育の現状と課題を踏まえ、主に義務教育期間の小・中学生を対象に、教育改革の方向性と施策を示した中長期的な計画を策定します。	16 年度策定 計画期間 10 年 [4 百万円]
(仮称)札幌市幼児教育振興計画の策定【再掲】 教)総務部	札幌市の幼児教育の現状を踏まえ、公私の幼稚園の役割の見直しを含めた中長期的な幼児教育振興の指針となる計画を策定します。	17 年度策定 [3 百万円]
楽しさとゆとりのある給食推進事業 教)総務部	学校給食をより一層充実するため、食事環境未改善の小・中学校について、食器具の改善とランチルーム備品の整備を行います。	食器具改善校 246 校 305 校 17 年度全小・中学校整備完了 [551 百万円]
学校新築事業 教)総務部	児童生徒数の増加が著しい屯田北地区の教育環境を改善するため、小・中学校を新設します。	屯田北小学校 屯田北中学校 (両校共 17 年 4 月開校) 車いす対応トイレ エレベーター設置 太陽光発電装置(小学校) [5,784 百万円]
学校適正配置計画の策定 教)総務部	少子化が進み児童生徒数が減少していく中で、良好な教育環境を確保するため、市内小・中学校の適正配置計画を策定します。	17 年度策定 [8 百万円]
特別支援教育研究モデル事業 教)学校教育部	盲・聾・養護学校で学ぶ子どもが、地域で学び育つことができる体制の整備を目指し、地域の学校を中心とした支援のあり方について調査・研究を行います。	15 年度事業開始 小学校 4 校をモデル校指定 [3 百万円]

事業名	事業内容	備考[計画事業費]
北翔・豊成養護学校看護師配置モデル事業  教) 学校教育部	北翔・豊成養護学校における児童生徒の医療的ケア体制の整備を目指し、教育、福祉、医療等の関係機関の連携や教員等と看護師との連携のあり方などについて実証的に検討するモデル事業を実施します。	重度重複障がい肢体不自由児の養護学校への非常勤看護師配置(各校1名) 豊成養護：小学部 北翔養護：中学部・高等部 [18百万円]
特殊学級整備  教) 学校教育部	特殊学級の対象となる児童生徒が、可能な限り地域の学校で学ぶことができるように、特殊学級の整備を進めます。	特殊学級新設(3カ年) 小学校 21学級 中学校 6学級 特殊学級整備率 33% 40% [167百万円]
特別支援教育の充実(学びの手帳発行)  教) 学校教育部	障がいのある子どもの保護者に対し、乳幼児期から学校卒業後までの継続した相談、教育的支援が行えるよう、必要な情報を一括してファイリングできる「学びの手帳」を発行します。	毎年2,000冊発行  [3百万円]
特色ある市立高校づくり  教) 学校教育部	生徒の能力、適正や興味、関心あるいは進路希望等の多様化に対応するため、市立高校の特色ある学校づくりを進めます。	旭丘：単位制 開成：専門学科 平岸、清田：普通科専門コース 啓北商：学科改編 [40百万円]
新しいタイプの定時制高校設置  教) 学校教育部	生徒の学習ニーズの多様化に柔軟に対応するため、市立高等学校4校の定時制課程を発展的に再編し、新しいタイプの定時制高校の新設を進めます。	普通科単位制 午前・午後・夜間の三部制 旧大通小学校跡地に設置 PFI導入検討 [35百万円]
地域に開かれた学校づくりの推進  教) 学校教育部	総合的な学習の時間等において地域の人材を積極的に活用した教育活動を進めるとともに、開かれた学校の創造に関する実践的な研究を行います。	学校研究モデル校事業  [102百万円]
学校開放地域活動モデル事業  教) 生涯学習部	地域の教育力向上や「開かれた学校」づくりを進めるため、放課後、休日、総合的な学習の時間における子ども向けのプログラムの企画・実施や学校施設利用のあり方の検討などをモデル校で実施します。	学校、地域の団体等による運営委員会に4年間委託 5年目以後自主活動 学校開放地域活動実施校 25校 40校(目標) [8百万円]

事業名	事業内容	備考[計画事業費]
学校図書館地域開放事業 教)生涯学習部	子どもや地域住民の読書活動を盛んにするとともに、読書を通じて子どもと大人、大人相互の交流の場を広げ、地域の教育力向上と子どもの健全育成に役立てることを目的に、学校図書館を地域に開放します。	新琴似小、明園小、琴似小ほか 学校図書館開放校 (小・中学校) 78校 87校 PTAに委託 活動はボランティア [225百万円]
「教えてファイヤーマン」事業の充実 消)予防部	消防職員が小学校に出向いて行う体験型授業を通じて、火災など非常時に迅速かつ適切に行動できる力を養います。	小学校4年生を対象として総合学習の時間に実施 [4百万円]
国際理解教育の推進(外国語指導助手招致) 教)学校教育部	中学校、高等学校での外国語(英語)教育において、生徒のコミュニケーション能力の育成と教職員の能力向上を目的として、外国語指導助手(ALT)を招致します。	ALT配置人数 29人 43人 [573百万円]
国連軍縮札幌会議の開催 総)国際部	「国連軍縮会議」の札幌開催(16年7月)に当たり、北海道などと連携し「実行委員会」を組織して会議の支援・協力を行うとともに、国際平和に対する市民理解の促進を図ります。	実行委員会に対する負担金 [15百万円]
サイエンス・パートナーシップ事業 企)企画部	科学技術に対する市民の関心や意識を高めるための普及・啓発やボランティアの育成を行うとともに、小・中・高等学校と大学や研究機関、企業等との連携により科学教育の充実に向けた札幌モデルを構築します。	[15百万円]

## 成果指標

51. 不登校児童生徒数	小学校 286人	30%程度減
	中学校 1,239人	20%程度減
52. 地域への授業公開校の割合(小・中学校)	51.0%	80%
53. 小・中学校における地域人材の活用人数	7,649人	10,000人
54. 電車やバスの中で席を譲った経験がある、たまにある子どもの割合	53.6%	70%
55. 学習の中で不思議だと思ってもそのままにする子どもの割合	14.9%	5ポイント減

## 重点戦略課題2 さっぽろを支え、発信する人づくり

### 施策の基本方針（ビジョン編で定めた方針）

子どもから高齢者まで、市民の誰もがさまざまな学習に取り組みその成果を地域の活動などに発揮できる環境をつくっていくとともに、国際的視野を持ちながら地域への貢献を果たす（仮称）札幌市立大学の設置や高等教育機関との連携強化に向けての取り組みを進め、これからの社会を担う人材を育成します。

### 5 - 2 - 1 多様な学習機会の提供とその成果を発揮できる環境づくり

事業名	事業内容	備考[計画事業費]
新たな生涯学習推進構想の策定 教)生涯学習部	札幌市における今後の生涯学習推進の指針となる新たな構想を策定します。	18年度策定 [3百万円]
さっぽろ市民カレッジ 教)生涯学習部	高度で継続的かつ体系的な学習機会を提供する「さっぽろ市民カレッジ」を実施します。また、ボランティア講師を養成するとともに、インターネット講座開設に関するモデル事業を実施します。	15歳以上の市民対象生涯学習センターを会場に実施 [31百万円]
市民との協働による都市計画制度の普及【再掲】 企)計画部	市民との協働による都市づくりを進めるため、都市計画の制度やしきみが市民に身近なものとなるよう、市民参加の勉強会や都市計画ガイドの作成などを通じて市民との協働による都市計画の啓発・普及を行います。	[24百万円]
(仮称)札幌市子どもの読書活動推進計画の策定 教)中央図書館	子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に進めるための計画を策定します。	17年度策定 [6百万円]
図書館施設の拡充 教)中央図書館	図書館施設のネットワーク化を進めるとともに、(仮称)八軒中央地区センター図書室を開設します。	地区センター図書室を含む図書館施設(36施設)のオンライン・ネットワーク・システム完成(16年度) 地区センター図書室17年度開設 [58百万円]
学校開放地域活動モデル事業【再掲】 教)生涯学習部	地域の教育力向上や「開かれた学校」づくりを進めるため、放課後、休日、総合的な学習の時間における子ども向けのプログラムの企画・実施や学校施設利用のあり方の検討などをモデル校で実施します。	学校、地域の団体等による運営委員会に4年間委託 5年目以後自主活動 学校開放地域活動実施校 25校 40校(目標) [8百万円]

事業名	事業内容	備考[計画事業費]
学校図書館地域開放事業【再掲】 教)生涯学習部	子どもや地域住民の読書活動を盛んにするとともに、読書を通じて子どもと大人、大人相互の交流の場を広げ、地域の教育力向上と子どもの健全育成に役立てることを目的に、学校図書館を地域に開放します。	新琴似小、明園小、琴似小ほか 学校図書館開放校(小・中学校)78校 87校 PTAに委託 活動はボランティア [225百万円]
資料館の法廷復元と司法教育への活用 教)生涯学習部	文化資料室移転後の資料館内に旧札幌控訴院の刑事法廷を復元・整備し、司法制度改革推進における司法教育の充実を図るための場として活用します。	18年度改装オープン [75百万円]
「男女共同参画さっぽろプラン」に基づく普及啓発事業 市)市民生活部	男女共同参画社会の実現に向けて市民や企業などがその理解を深めることができるよう、さまざまな機会や広報媒体を活用して普及啓発活動を行います。	[30百万円]
アイヌ伝統文化啓発活動推進事業 市)市民生活部	自然との共生の中ではぐくまれてきたアイヌ民族の伝統的な生活様式や文化への理解を広めるとともに、人権啓発を継続して実施します。	[6百万円]
インカルシペ・アイヌ民族文化祭【再掲】 市)市民生活部	アイヌ民族の伝統文化を伝承・保存するとともに広く市民に紹介するため、民族音楽祭やフォーラムなどを継続して実施します。	[4百万円]

#### 5-2-2 (仮称)札幌市立大学の設置と高等教育機関との連携強化

事業名	事業内容	備考[計画事業費]
市立大学設置事業 企)企画部	これからの札幌を担うデザイナーや看護職などの人材を養成するとともに、地域産業の振興、保健・医療・福祉の充実、芸術・文化の向上などまちづくりの課題について幅広く貢献することを目指し、(仮称)札幌市立大学を設置します。	18年4月開学 [4,733百万円]
大学等高等教育機関と連携した生涯学習の推進 教)生涯学習部	市内、近郊の大学と生涯学習の推進に関する協議機関を設置し、情報交換を通じて、公開講座やリカレント教育などにおける連携を推進します。	[ - ]
さっぽろ市民カレッジ【再掲】 教)生涯学習部	高度で継続的かつ体系的な学習機会を提供する「さっぽろ市民カレッジ」を実施します。また、ボランティア講師を養成するとともに、インターネット講座開設に関するモデル事業を実施します。	15歳以上の市民対象 生涯学習センターを会場に実施 [31百万円]

## 成果指標

56. 学習・活動（趣味・スポーツを含む）をしている人の割合（成人）	65.0%	75%
57. 学習成果を活用したい人の割合（成人）	58.0%	70%
58. 学習環境に満足している人の割合（成人）	53.3%	65%
59. さっぽろ市民カレッジ受講者数	2,400 人	3,000 人
60. 生涯学習を支えるボランティア数	4,000 人	4,500 人